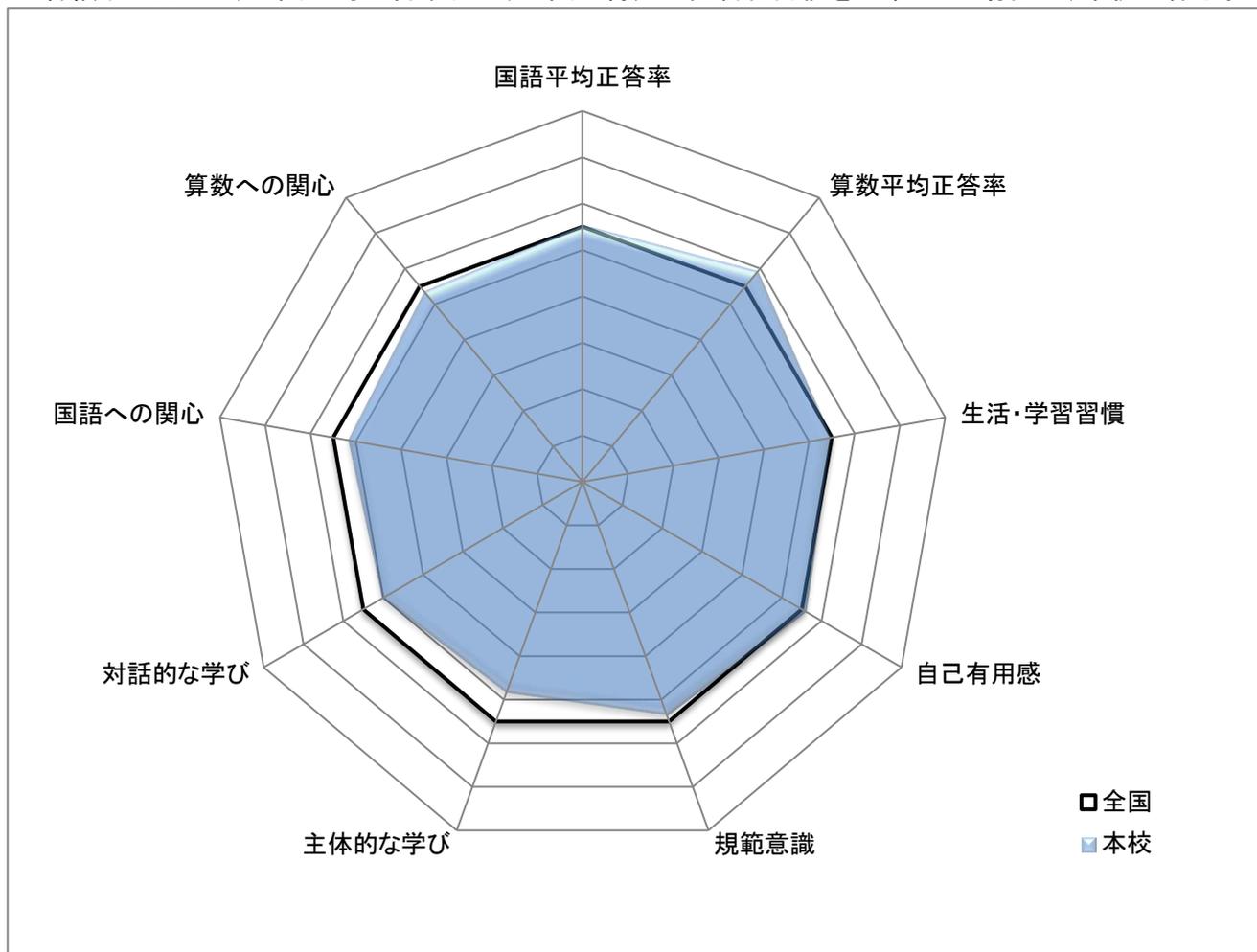


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

六年担任からの聞き取りによると、主体的な活動につながる取り組みは随時行っているが、時間の制限から一部の児童が主体的に活動しにくい現状があることが分かった。児童が意欲をもって自発的に活動を提案してきても、実現できない校内事情がある。
対話的な学びも、学習内容の肥大化、行事の準備による時間の圧迫により、話し合いをじっくり行う時間の確保が難しい現状がある。

《授業改善のポイント》

行事の精選と学習に軽重をつけて時間を工夫することで、児童が主体的・対話的に学ぶ時間を多くする。
活動の目的を常に全員が出来るように、声掛けや表示を工夫して全員が活動しやすい授業にする。

《チャートの特徴》

国語の平均正答率は全国平均とほぼ同等であった。算数の平均正答率は全国平均を上回った。国語への関心、対話的な学び、主体的な学びは全国平均を下回った。特に主体的な学びは大きく下回っており、対策が急務である。
* 国語平均正答率と算数平均正答率はテストの結果から算出。その他は質問紙の回答をもとに算出している。

《家庭・地域への働きかけ》

行事の縮小など学校の変化を理解していただき、学校との協力体制を強固にする。